

## 令和3年度 交流サッカーフェスティバルに関する

### 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

#### 感染拡大防止のための基本事項

- ・交流センターの基本方針に準じ、検温・手指消毒によって施設の利用及び、競技を実施できる。

#### 交流サッカーフェスティバルに関する感染拡大防止のための対策

1. 当日、体調不良や検温で37.5度以上の発熱がある方の参加は認めない。
2. 当日は集合から解散時までのすべての場面で、三密を避け十分な対人距離（できるだけ2m以上）をとって行動する。
3. 受付は、ハーフコートの部、フットサルの部と各部ごとに時間をずらして実施する。
4. 介護者・保護者については基本的に、障がいのある方1名につき1名までとする。
5. 他者との接触を防ぐため、指定場所以外でのウォーミングアップは禁止とする。
6. ウォーミングアップ時、試合中のマスクは任意とするが、待機中、移動中、ベンチ内でのマスク着用を徹底する。
7. ボール、ベンチなどの共有用具に関しては、試合前後の消毒を徹底し、使用後は手洗い・手指消毒に努める。
8. 飲水用のボトルやコップの共有は行わないよう各チームに周知徹底する。
9. 試合前、試合中の握手やハイタッチ、声を出しての応援は禁止とする。
10. 「埼玉スタジアム 2002 公園 施設利用におけるガイドライン」を遵守し、利用者情報記入用紙をスタジアムへ提出する（保護者・介護者含む）。
11. 「【新型コロナウイルス感染症の感染防止対策】公園施設利用のご案内」を各チームへ配布する（埼玉スタジアム 2002）。
12. 更衣室（クラブハウス内）の利用は、埼玉スタジアムの指示に従い利用可とするが、可能な限り短時間での利用とする。
  - ① 更衣中はマスクを着用のまま会話を最小限にとどめる。
  - ② シャワーの利用は禁止とする。
13. 休憩中などマスクを外している間は会話を控え、咳やくしゃみが出る場合は、口をタオルや衣類で覆うなど、咳エチケットを徹底する。
14. 職員、役員は不織布マスクを着用し、十分な対人距離をとり、定期的に共有部分の消毒に努める。
15. 試合終了後のチームは速やかに会場から帰宅してもらうよう促し、スタジアム内での食事は禁止とする。
16. 保護者・観戦者のベンチ内の立ち入りは禁止とする。
17. 当センターより、配布する消毒スプレーにてこまめな手指の消毒を実施すること。
18. フットサルコートにおける審判員のホイッスルは、飛沫防止のため、電子ホイッスルを使用し試合ごとに消毒を実施する。（ハーフコート審判員を除く）

以上